

「草刈作業の省力化や安全性の確保に向けた 『リモコン草刈機の実演会』を開催」

県央農林総合事務所

管内の河北郡市においては大区画のほ場整備が進められていますが、中山間地は傾斜がきつく、法面の大きい水田が多いことから除草作業に要する時間やコストが経営を圧迫するほか、傾斜地での作業は労働負荷が大きく安全面も問題になっています。

そこで、当事務所では、水田の法面除草の効率化と労働負荷の軽減を目的として、JA石川かほく、(公財)いしかわ農業総合支援機構等と連携し、河北郡市の水稲経営体を対象に、傾斜の大きい法面でも遠隔操作で除草が可能な「リモコン草刈機」の実演会を6月27日に開催しました。

実演会では、作業機械メーカー3社からコンパクトで急斜面でも対応可能なリモコン草刈機について、その特徴や作業性について説明していただきました。管内からは、水稲経営体や関係機関から約70名が参加し、「大きな雑草でも刈れるのか」「バッテリーの持ち時間はどのくらいか」など積極的に質問が出るなど、注目度の高さが伺えました。

また、3社のリモコン草刈機それぞれの作業時間を計測し、従来の刈払機との作業時間を比較したところ、5割程度削減することが確認できました。今後はさらに機種ごとの作業効率や費用対効果等を検証し、その結果に基づき当地域に適したリモコン草刈機を提案することで、除草作業の効率化と安全性の確保を図ることとしています。



図1：実演会の様子



図2：リモコン草刈機による除草作業

問い合わせ先：農業振興部（076-239-1751）